

# 2012年7月21日

今日はサースフェーで恒例になっている展望台に登りテーシューホルン、ドームのアルプスの雄大な山々を見学し、その後バスでグリメッツの村を見学し、ツェルマットのホテル迄の予定です



希望者は朝焼けのミシャベルアルプス観賞に連れて行くとのことで5時に起床、期待して外に出て見ると街は霧の中

それでも一応観賞ポイントまで添乗員さんについて行く。添乗員さん御苦労さん 一応日の出まで待ったが視界不良。帰りは一本道と思ったが吉野さんとふたりで2回も別の方向に行きそうになりました。



ホテルのバーで時間まで一休み



いよいよ展望台へ 金沢さんに連れられてケーブルの駅にまで歩くいろいろな方面の展望台への交通機関があるので出発駅を間違えないようにしないと 今日はずべての方向に自由に行ける一日パスが渡され、シュピルボーデン展望台まで一緒に登り、そこからは自由行動

シュピルボーデン展望台は視界不良で 一旦麓まで降り、もっと高い所にあるアラリン展望台(3500m)の方面に向かう事にする



まずはロープウェイで



スキーヤーのためか中はかなり広い



霧の晴れ間も見え、もしかすると上に上がると晴れ渡り絶景が見れるかと期待されましたが



乗り継ぎ今度は地下ケーブルです

ケーブルが着くまで扉があきません



ようやく車両に乗り込みます

たどり着いたところは一面の雪景色、軽装の私は寒い 零下です

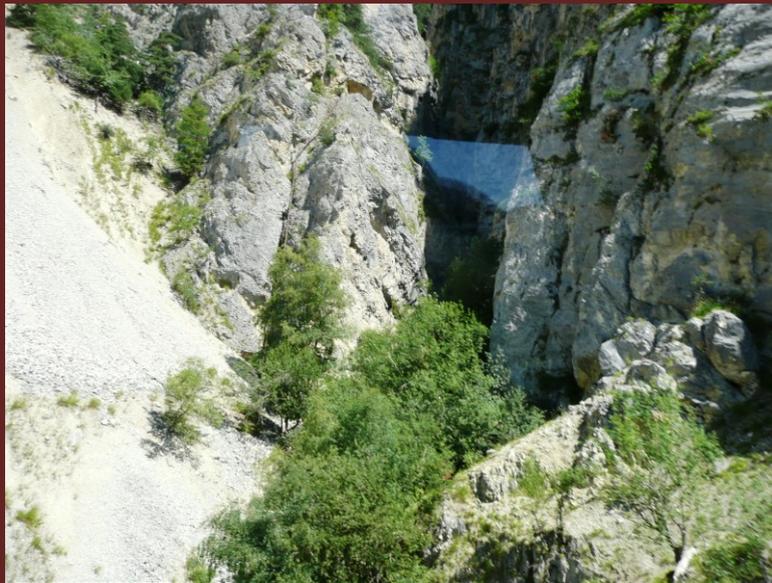


スキーヤーがかなり居ました 夏でもスキーができ、ヨーロッパ各地から集まるそうです

重装備の方は大丈夫そうですが



展望もなく、寒いのでまたそうそうに麓に降りました

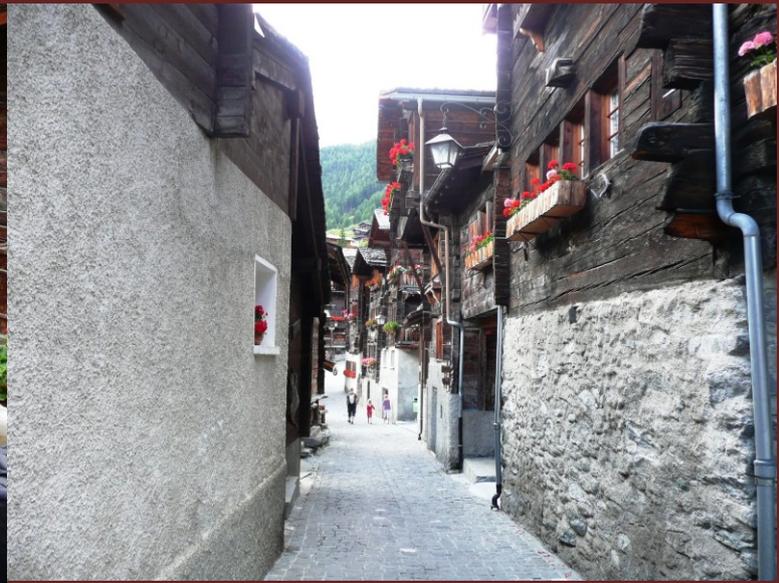


バスでグリメツツに向かいます



予備知識もなく降り立ったところは昔ながらのスイスの村  
観光客の少ない穴場という 日本の白川郷か大内宿という  
ところか

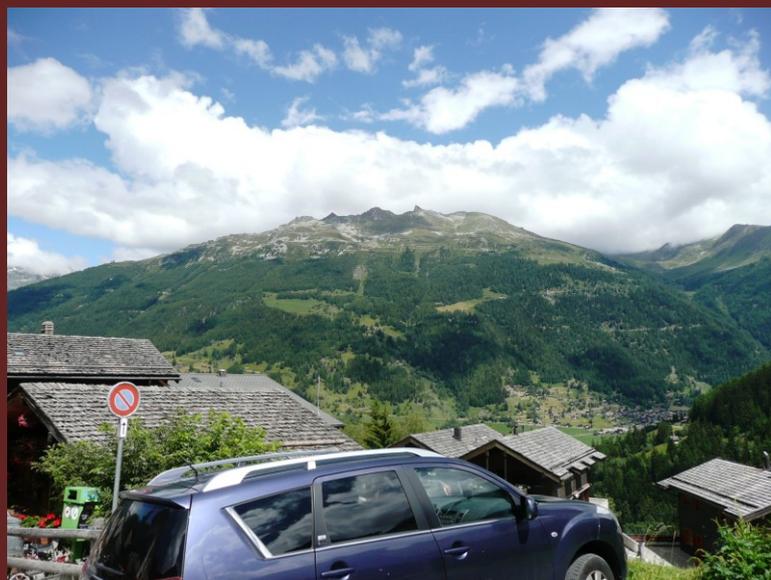
このような家の作りがスイスの伝統の家



村内は道も狭く 建物も古く、周囲の山々と絶妙にマッチ



窓辺にはペコニアの赤い花が一様に飾られています



電柱 電線の無い町は良いですね  
 そういえばしきりに電線のことにこだわる一人参加の方が居り、我がクラブのKさんに雰囲気がそっくり、そこで我々仲間うちではその方をKさんと呼んでいました。本名はわかりませんが また別に我がクラブのYさん、Kさんに雰囲気がそっくりの方が居られ、その方のこともYさん、Kさんと仲間内で呼んでいました。いずれも男性ですが

何時のまにか今日も良いお天気になっていました。  
 スイスは暑くも寒くもなく、さらに雨も風もないというところでした。このままこの天候がスイスの印象として残りそうです



時間がたっぷりとありましたので、村内をぐるぐると



教会の脇の墓地



素朴な教会



新築の家の作りも伝統的な家に合わせて作られています



疲れましたね 一休み

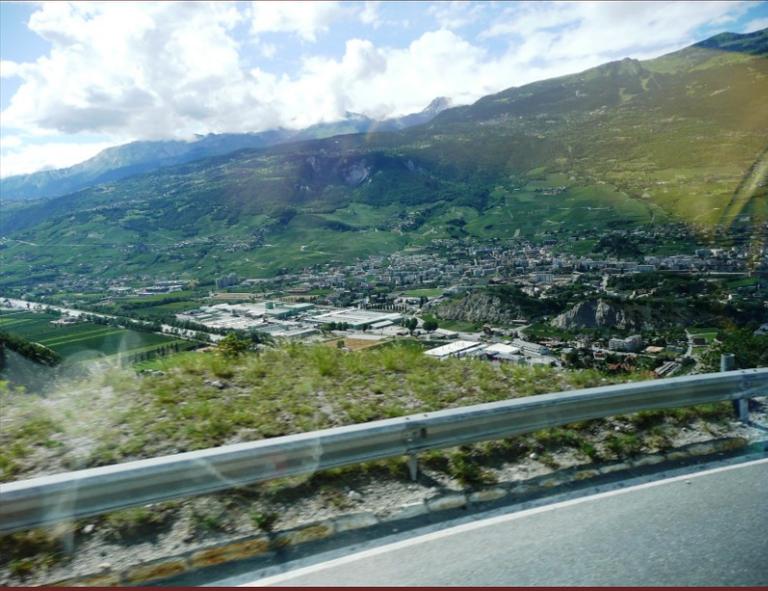


周囲の山々



もと来た道をバスで戻ります。片側は千尋の谷

曲がりくねった道 大型バスは切り返しも必要なところもあり、大変 乗っている私もここで道を踏み外したら一巻のお終いと思ったり



ようやくツェルマットに到着かと思ったら、ツェルマットは車（電気自動車のみ）が入れないという規制

ツェルマットの手前で電車に乗り換える  
乗用車で来た人も この駅で駐車して電車に乗り換えツェルマットに行くことになる



車内の様子

ツェルマット駅前のアンパサダーホテルに泊まります



窓辺には赤い花のお出向かい 造花ではありません生花です

ホテル前でマッターホルンが見えました



やっと着いたホテルでのディナー まずはお疲れ様でした  
スイスビールで乾杯



スイスビール